

中学校時代の3年間は、児童から青年へと青春時代の入口に立つ、大切な道程です。「青年がまず第一に学ぶべき重要な教訓は、自分は何も知らないということである。」これを英語で言ってみましょう。答えは裏面にあります。



本中だより

令和5年12月号③

墨田区立本所中学校

校長 松井 隆



教育目標 『心豊かな たくましい本中生を育成すること』

《心豊かに たくましく》

豊かな感性と思いやりの心を培う文武両道の学力向上校を目指します。本校は、人間尊重の精神と社会貢献の精神を基調として、知徳体の志ある人間教育を眼目に、品格ある学校、静かな学校、きれいな学校、そして、今までできなかったことができるようになる学校を具現化します。そこで、持続可能な知識基盤社会において活躍し幸福な百年人生を実現するとともに、心豊かな人間性とたくましく生き抜く力をもった本中生を育成していきます。そのためには、次の3つの言葉を要とします。

改革; 自己改革の情熱と、向上し挑戦する心

真理; 真実を学ぶ心と、誠実な心

和合; 和みのある豊かな感性と、思いやりの心

校 訓 『学びあう』

百年人生で生涯学習の時代です。学びあうことは、可能性を開花するとともに、どんな困難をも克服して、明るい社会と幸福な人生につながります。 墨田区立本所中学校

冬休み、油断大敵の15箇条【健全で安全な冬休みを過ごすために、熟読してください】

- ① 自他の人間や生命を大切にし、規範意識をもって生活しましょう。誠心誠意の心構え身構えで日々を過ごすことが大切です。
- ② 誰に対してもいじめや暴力は許されません。いじめや暴力を否定する意識を強くもち、偏見や差別の気持ちをもたないことです。特に、絶対に路上生活者に対する偏見や差別意識をもたない。暴力行為をしない。人間は皆大切な存在であり、人権が大切だと心によく受け止めましょう。
- ③ いじめをしない、させない、加担せず見逃さない。困った時には、勇気を出して相談です。悩みを一人で抱え込まない。保護者や先生、信頼のできる大人に相談しましょう。
- ④ 人権侵害、非行、犯罪等の行為をせず、犯罪や事故に巻き込まれないように注意しましょう。具体的には、学校内外での暴力行為、破壊行為、落書き、万引き、飲酒、喫煙、薬物乱用、家出、無断外泊、深夜徘徊、恐喝、窃盗、性にかかわる問題行動、火を使った遊び、鉄道等公共交通機関への妨害行為、等々をしないことです。特に、自転車窃盗、自動販売機荒らしは窃盗罪になり、許されない行為です。
- ⑤ インターネット、スマートフォン、携帯電話の情報を不適切に使用しない、誹謗・中傷をしない、SNSで他人の悪口や個人情報などを記載することはしないことです。詐欺行為、出会い系サイト、オンラインゲーム、オンライン上のコミュニケーション等を通じての見知らない人との交際による性被害・性犯罪、サイバー犯罪等々の被害者にも加害者にも絶対にならない。
- ⑥ 年末年始、お年玉やお小遣いを貰い、いつもより多額の金銭を持つ可能性が高い時期です。正しい金銭感覚を心がけ、浪費や友人間の金銭や物品の貸借・贈与をしない。
- ⑦ 絶対に薬物を乱用しない。危険ドラッグは、毒性が強く、乱用すると死に至る危険な薬物です。

- ⑧ 交通ルールやマナーを守り、自転車の走行時や歩行時の事故防止に努め、交通事故から身を守りましょう。バイクや自動車にも注意し、飛び出しや不注意による衝突事故、接触事故、交差点での巻き込み事故を防ぎましょう。アイコンタクト(運転手の目を見て、運転手が自分の姿や存在に気が付いているのかを確認すること)を励行しましょう。
- ⑨ 連れ去り、誘拐、痴漢、性犯罪被害、不審者被害等の危険を回避するように注意しましょう。不審者による声かけや痴漢行為が発生しているので、迷わず、110番通報です。
- ⑩ 知らない人から(「荷物を運んだらお金をあげる」

「大事なものを受け取ってくれば報酬を出す」等)の誘いで、詐欺犯罪に巻き込まれることがあります。詐欺等の犯罪行為の加害者や被害者にならないため、危険を感じる誘いがあれば、保護者や学校、警察に直ぐに連絡です。

- ⑪ 公園や施設等のルールやマナーを無視する行動をしない。公共の場所での遊び方や施設利用の仕方に留意し、本中生としての誇りと品格ある行動をしましょう。特に、河原等での火遊びをせず、火傷や火災事故等の防止に努め、家庭でも、火の取り扱いにはよく注意しましょう。
- ⑫ 冬季の旅行時では、冬山や氷の張った河川等において安全な行動をして、危

険を回避し、自らの命を守るように心がけましょう。

- ⑬ 新型コロナやインフルエンザ等の感染予防や拡大防止のため、手洗い、うがい、咳エチケットの励行をしましょう。不要不急の外出を避け、人が集まる場所への無用な外出は控えましょう。
- ⑭ 海外情勢を踏まえ、海外へ渡航する際は、外務省海外安全ホームページ等を確認する等、細心の注意を払いましょう。
- ⑮ キュビナ等を使い、自ら進んで学習し、自律した生活をしましょう。部活動等においても、健康と体調管理に気を付けましょう。新年1月に、元気に登校してください。楽しみにしています。

◎Society(ソサエティ)5.0の情報安全に備えて

これからの社会での情報の危険性に鑑み、中学校段階では、本校は SNS をしないことをルールとしています。しかし、卒業後、高度情報社会の大波を受けることは必至です。そこで、情報安全のための心構えや身構えを、今からしっかり作っておく必要があります。次のことに留意しトラブルを防止しましょう。

その1、まざらわしい言葉を使わない インターネットや SNS は、直接話さないで、相手の意図が伝わりにくい。そのため、普段から言葉を正しく使う習慣を身に付け、十分に気を付けましょう。

その2、文章を考えてから送信する 一時の感情に任せて情報発信をしてしまうと、取り返しがつかなくなる場合があります。文章を送る際には少なくとも読み直しをするなど、『ゆとり』をもちましょう。

その3、保護者とのルールを作る インターネット、SNS のトラブルは、未成年者だけでは解決できない場合があります。危機回避の点からも、普段から保護者とよく話し合い、しっかりとしたルールを決めましょう。

その4、既読無視されても気にしない 既読無視は、相手を傷付け精神的なストレスにつながる場合があります。しかし、相手にもいろいろな事情があることを頭に入れて冷静に対応していきましょう。以上のことをしっかり考えて、トラブルに巻き込まれないようにするため、正しくインターネットを使う心構えや身構えを養いましょう。

◎インターネットを使う上でも**人の悪口を言わない・だまされない**ことが肝心

◎いじめは、いつでも誰にでも起こり得ることを前提とし24時間対応のいじめ電話相談窓口が開設されています。すみだスクールサポートセンター**電話03-3613-0127**です。いじめ問題に関する相談ができます。勇気を出して相談をしてください。さらに、『どんな小さなことでも心配・不安・悩みがある時は一人で悩まず、相談しましょう』『TOKYO ほっとメッセージチャンネル』(<https://ijime.metro.tokyo.lg.jp/message/>)にも相談できます。

The first great lesson that a young man should learn is that he knows nothing.

(青年がまず第一に学ぶべき重要な教訓は、自分は何も知らないということである)